

仙台・宮城DCは次なるステージへ活動開始！！

各地で地域自らが様々な取組やイベントを展開し、多くの旅行者を受入れた「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」は、平成20年12月31日に終了いたしました。このキャンペーンは当初より、仙台・宮城の継続的な観光による活性化を目指したもので、終了以降もこの仙台・宮城デスティネーションキャンペーンを契機とした取組を継続するため、既に新たな活動が始まりましたので、今回の「むすび丸通信」で紹介させていただきます。

1月19日(月) 仙台・宮城デスティネーションキャンペーン 共同記者会見を実施

DC協議会

仙台・宮城DC期間中の、観光客入込数と宿泊客数のサンプル調査による概況調査の報告と、DC期間に各地で取組んだ事業やイベントも含めた全体成果について、村井宮城県知事（DC協議会会長）、梅原仙台市長（会長職務代行副会長）、田浦JR仙台支社長（副会長）、佐々木美里町長（副会長）、丸森宮城県商工会議所連合会長（副会長）の5氏から発表が行なわれました。

引き続き平成21年から2年間、ポスト仙台・宮城DCとして継続した取組を予定している「仙台・宮城【伊達な旅】キャンペーン」の体制や宣伝展開の概要についても発表がありました。



村井知事
（会長）
梅原市長
（会長職務代行副会長）
田浦支社長
（副会長）
丸森連合会長
（副会長）
佐々木町長
（副会長）
5氏による会見風景



会見会場での各地の取組 & ポスターパネル展示

仙台・宮城DC平成20年10月～12月観光客入込概況

■観光客入込数 昨年同月比107.0%

■宿泊客数 昨年同月比94.3%

■乗車人数 昨年同月比101.3%

●調査サンプル数 観光施設51箇所 祭り・イベント9箇所
宿泊施設30箇所 交通機関3箇所



ポスト仙台・宮城DCの概要

■キャンペーン名称 仙台・宮城【伊達な旅】キャンペーン

■実施組織名称 仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会

■組織設置期間 平成21年3月～平成23年3月

キャラクター **継続** シンボル キーワード



ポスト仙台・宮城DCの概要は、3月の新組織設立総会で正式決定

仙台・宮城DC観光客入込数や各地で行なわれた事業概要は、仙台・宮城DCホームページへ掲載しておりますので、是非ご覧下さい。

2/4(水) 仙台・宮城デスティネーションキャンペーン 報告会を開催！！

DC協議会

仙台・宮城DCを契機に、各地で自ら考え実践した取組について発表し、仙台・宮城DC以降も継続した取組の継承や、情報の共有化による新たな観光の取組事例として活用していただく事を目的に、仙台・宮城デスティネーションキャンペーン報告会」をホテル仙台プラザを会場に開催しました。

冒頭報告会では、村井知事（会長）、梅原仙台市長（会長職務代行副会長）、田浦JR仙台支社長（副会長）から、それぞれ仙台・宮城DCの成果や今後に向けた方針等を踏まえた挨拶を受け、引き続き、それぞれの事業に直接携わった皆さんから、12事例の事業について報告発表をいただきました。会場に集まった200名を越える参加者は、今後の参考とすべく熱心に聞き入っていました。



村井宮城県知事あいさつ



梅原仙台市長あいさつ



田浦JR仙台支社長あいさつ



「歩いて楽しくなる遠刈田温泉街を目指して」
蔵王町遠刈田温泉旅館組合女性部代表 佐藤久美子さん



「仙台おもてなしステーションプロジェクトの取組」
JR東日本仙台駅 狩野美保子さん 佐藤紀彦さん



「観光ボランティアの取組について」
仙台市街中観光ボランティアガイド 狩野栄喜さん



「はらこめしを用いた新規事業の展開について」
巨理町 遠藤匡範さん あら浜店長・塚部久芳さん

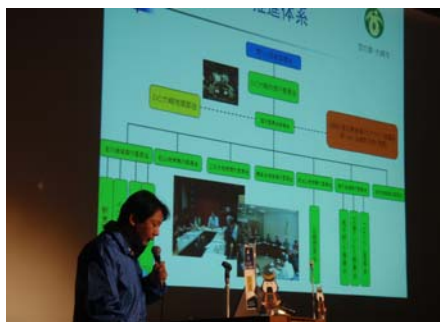


「食彩・感動いしのまきツアーの開催」
石巻観光ボランティア協会会長 斉藤敏子さん



「仙台・宮城DC協議会の事業報告」
事業局長 相澤滋

仙台・宮城DC報告会・・・つづき



「観光をととした地域づくりの実践」
DC大崎市実行委員会幹事 真山隆宏さん



「白石温麺がつくる 歴史と文化のまちの未来」
奥州白石温麺共同組合理事長 吉見光宣さん



「仙台・宮城DCを振り返って」
栗原市ほそくら観光ボランティア代表 三塚東さん



「松島におけるDCの取り組み」
(社) 松島観光協会事務局長 福井啓次さん



「観光バス誘致大作戦商店街ならではのおもてなし」
塩釜市 相澤和広さん 熊久店主 熊谷典久さん



「気仙沼市のDCへの取り組み」
気仙沼観光コンベンション事務局長 菊田清一さん



「仙台・宮城DCの総括」
仙台・宮城DC推進協議会常任幹事 伊本廣一

仙台・宮城デスティネーションキャンペーン報告会 美味し国 伊達な旅

仙台・宮城DCを通じての成果

地元が一体となって、お客さまを受け入れる体制が構築された

- 商店街や農業・漁業関係者等の産業の垣根を越えた連携実現
- DCをきっかけに、地域が一体となり新しい観光素材の発掘と提供
- 県境を越えた新しい広域観光とルート作りによる流動促進
- JRグループをはじめ各民間企業によるDC・地域支援の実施
- DCキャラクター「むすび丸」パッチ等による参画意識とおもてなしの実践



また来て!みやぎキャンペーン展開中

3月20日(金)までに宮城県内へ宿泊すると
抽選で500名様に伊達な逸品が当たる!

仙台・宮城DC推進協議会では、DC終了後も引き続き仙台・宮城へお客様を誘客するため「また来て!みやぎキャンペーン」を展開しています。

・・・詳しくは専用パンフレットをご覧ください・・・

1/13(火) 仙台・宮城DC振り返りシンポジウム 「観光をとおした地域づくり」開催

大崎市

大崎市では早速、仙台・宮城DCを振り返り、継続した大崎市の観光振興の在り方を検討する目的で、仙台・宮城DCを契機に旧合併前の市町単位で取組んできた関係者を中心に、約200名が三本木総合支所に集まり、「観光をとおした地域づくり」シンポジウムが開催されました。また、旧7市町単位で取組んだ事例の報告がなされたほか、今後の大崎市の観光振興に向けた在り方や連携についての多くの意見交換が行われ、会場は熱気に包まれていました。



シンポジウム会場と、コーディネーターの清水氏（JTB常務）を囲み代表者は活発な議論を行なった

2/9(月) 仙台商工会議所文化観光部会 新春懇談会 パネルディスカッション「美味し国 伊達な旅」 ～新たなステージへ向けて～開催

仙台商工会議所

2009仙台商工会議所文化観光部会の新春懇談会がホテルメトロポリタン仙台で開催され、昨年開催された仙台・宮城DCの報告と今後の継続方針について、DC協議会伊本常任幹事から説明報告が行なわれたほか、引き続き会場では、パネルディスカッション「美味し国伊達な旅」～新たなステージへ向けて～が行なわれました。

パネルディスカッションでは、パネリストとして田浦芳孝氏（JR東日本仙台支社長）、一力雅彦氏（河北新報社社長）、中川英毅氏（一番町一番街商店街振興組合理事長）の3氏、コーディネーターを志賀秀一氏（東北地域環境研究室代表）が務め、今回の仙台・宮城DCをそれぞれの立場にたった視線での評価や問題点について意見が出されました。また、このDCをきっかけとした継続した観光による地域振興に対する大きな期待と意見も出されるなど熱い議論が展開され、今後に向けた大きな収穫を得る結果となりました。



仙台商工会議所文化観光部会
中村部会長あいさつ



仙台・宮城DC協議会
伊本常任幹事のDC報告



志賀氏の進行で、田浦氏・一力氏・中川氏からは熱心な意見が寄せられた。

仙台・宮城DC協議会と関係者の皆様限定案内

表紙(案)

仙台・宮城DC報告書の申込み締切り迫る！

2月27日(金)まで申込書をお送りください。

今回はDC関係者で予め必要部数を把握し、製作実費を負担いただく方式で製作します。

